

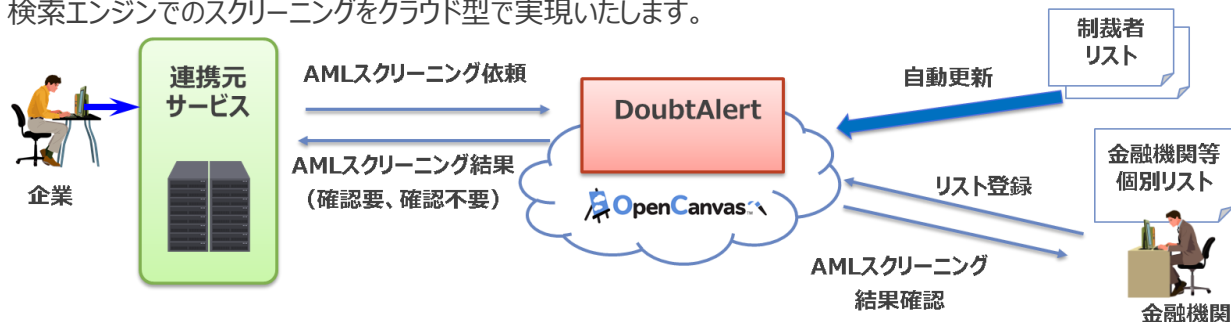
# クラウド型マネーロンダリング対策（以下：AML）サービス「Doubt Alert™」のご紹介

## 1. Doubt Alert提供の背景

昨今、FATF（金融活動作業部会）や金融庁など国内外の機関は、経済活動の健全化やテロ組織への資金流入防止等の観点から、マネロン対策におけるITシステムの早期導入や高度化を促進しており、金融機関における喫緊の課題となっています。

## 2. Doubt Alertの概要・特徴

弊社では、金融機関のみならず他業界も含めたニーズに対し、AMLスクリーニング機能に特化した「Doubt Alert」（ダウト アラート）を提供します。Doubt Alertは、制裁対象者リストの提供・自動更新を備え、AMLに特化した検索エンジンでのスクリーニングをクラウド型で実現いたします。



なお、「Doubt Alert」は、金融機関をファーストターゲットとして、弊社外為業務インターネットバンキングサービスである「AnserBizForex®」と連携し、金融機関が海外送金受付業務を実施する際のマネロン対策システムとして2018年12月より提供を開始しております。

共同利用型サービスとしての提供	システム対応コストを抑え、安価かつ容易にマネロン対策を行うことが可能です。
セキュアなクラウド環境のOpenCanvas®上に構築	高い信頼性とセキュリティ性を有する弊社のクラウドサービス「OpenCanvas」上に構築を行うため、「利便性」と「安心・安全」の双方を併せ持つサービスとなっています。また、金融機関のみならず、他業界も含めて提供可能な拡張性も持ち合わせています。※検討中
実績あるパッケージを活用	検索エンジン、AMLスクリーニング機能は、多くの導入実績があるAMLサービスパッケージを活用しています。
制裁対象者リストの管理・提供	弊社にてリストを調達し「Doubt Alert」に反映することで、金融機関等は独自に情報を収集・蓄積することなく、当該リストに関するAMLスクリーニングを実施できます。

## 3. Doubt Alertのサービス拡張

今後も、金融庁からのガイドライン、金融機関からのご意見等を踏まえ、AML対策の事務負担軽減を実現する機能・仕組みを継続検討してまいります。

